

伝えたい記憶-写真に見る 京都・馬町空襲 被害地図

被害者
馬町空襲は、京都府の歴史を刻む重要な出来事である。この空襲は、馬町の町並みを壊滅させた。多くの建物が焼失し、多くの人が犠牲になった。この空襲は、馬町の町並みを壊滅させた。多くの建物が焼失し、多くの人が犠牲になった。この空襲は、馬町の町並みを壊滅させた。多くの建物が焼失し、多くの人が犠牲になった。

馬町空襲は、京都府の歴史を刻む重要な出来事である。この空襲は、馬町の町並みを壊滅させた。多くの建物が焼失し、多くの人が犠牲になった。この空襲は、馬町の町並みを壊滅させた。多くの建物が焼失し、多くの人が犠牲になった。

馬町空襲爆弾の破片

1945年(昭和20年)1月15日午後11時20分頃「東山馬町」一帯はアメリカ軍爆撃機529機の空襲を受け、死者41人、負傷者48人、家屋の全半壊142戸及び、被災者総数729人に達した。

東山馬町下る妙法堂前町(現在のホテル東山馬町北行西)に落ちた爆弾の一部で、爆心部から北へ約100m離れた同町421番地付近に飛来した破片である。拾得者石田春和の証言によると、爆撃機発進も攻撃力が高かったため、このように多数の破片が落ちて、相当数の破片が自宅の壁に刺さったと述べている。

寄贈者
東山之東大路池下2妙法堂前町421
石田春和